



第271号

2011年(平成23年)8月1日

大臨技ニュース

T 543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 今井 宣子
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/



平成23年度 夏季 献血推進活動

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



内容:「献血・街頭呼びかけ」



暑い夏がやってきました。

この時期、献血数の減少により血液製剤の適正在庫の確保が困難になっております。今回も自らが献血できる方はもちろん、献血は出来ないけれど市民の方への呼びかけを手伝ってくれる方など、皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

大臨技会員をはじめ、賛助会員の皆様、学生の皆様、ぜひご参加ください!
なお会員の方は献血会場にお越しの際、行事参加登録いたしますので(基礎教科-20点)
大臨技献血スタッフにお声をかけていただきますようお願い申し上げます。

日時

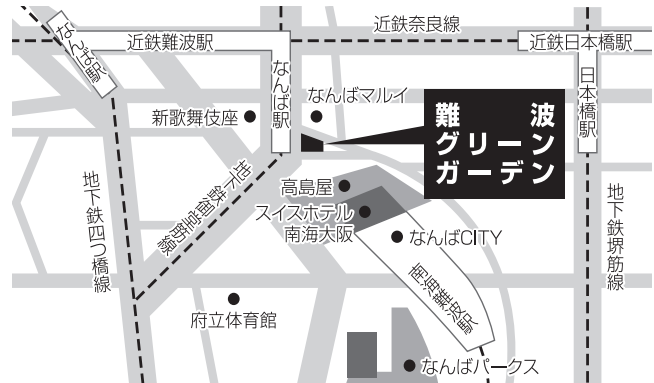
平成23年8月27日(土) 10:00~16:30

会場

難波グリーンガーデン(南海難波駅北すぐ)
(午前のみ・午後のみ の活動参加でも OK です。)

連絡先

市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
Email: akane@mub.biglobe.ne.jp



他職種公開講座 血液形態セミナー・特別編

学術部 血液検査部門からのお知らせ

評価点

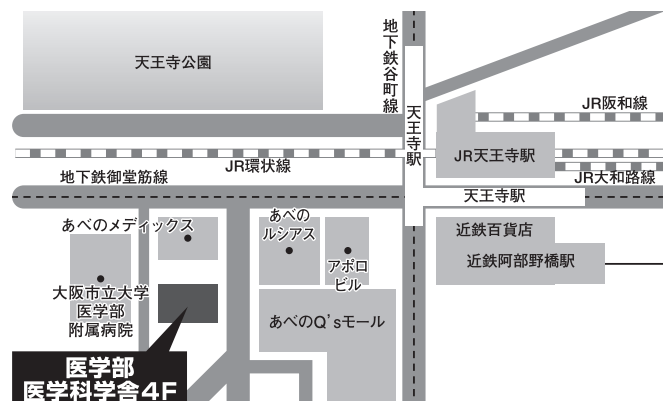
専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

外注検査に出していた細胞表面マーカーや、遺伝子・染色体の結果を見て悩んだことはありませんか?
例年ならば血液形態セミナー・ジュニアコースで講義していた内容の一部を他職種公開講座として開催します。
内容は、細胞表面マーカー、遺伝子・染色体、WHO 分類についてです。自施設で検査されていない方、血液検査室に配属されて間もない方にもわかるように、どの内容も基礎を中心に講演していただきます。
ベテランの方も基礎を学習する良い機会となりますので、ふるってご参加ください。

- 日時 平成23年8月27日(土) 13:30~16:30
- 会場 大阪市立大学医学部 4 階 大講義室
- 参加費 700円(一律)
- 連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 検査部 稲田 孝
TEL: 072-840-2641

内容

- 細胞表面マーカー
講師: 大阪医科大学附属病院 中央検査部 池本 敏行
- 遺伝子・染色体
講師: 松下記念病院 中央臨床検査部 塩崎 尚子
- WHO 分類
講師: 南大阪病院 臨床検査科 吉川 慎一



他職種公開講座 検体管理システム部門 実技講習会

学術部 検体管理システム部門からのお知らせ

評価点

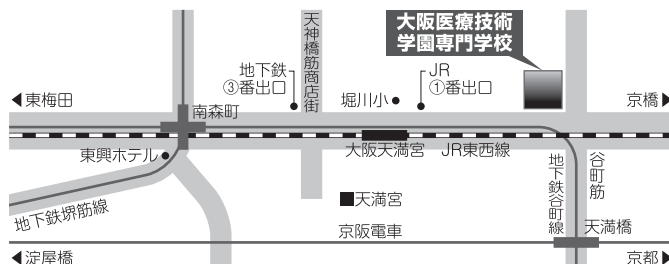
基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

検体管理システム部門では、今年度もパソコンを使った実技講習会を行います。

今年は Excel 講座を企画しています。各回とも独立した内容になっていますので、どれか興味のある回だけ参加していただければ結構です。

ただし、実際にコンピュータを使った講習会なので、台数の関係から各回とも先着 30 名の予約制にさせていただきます。



対象者: エクセルの基本操作がわかる方

【開催日時・内容】

第1回 平成23年9月3日(土) 14:00~17:00

「Excel 講座 グラフ活用編」

講師: JR西日本健康増進センター 大江 泰浩

第2回 平成23年9月10日(土) 14:00~17:00

「Excel 講座 裏技・お役立ち機能編」

講師: 大阪メディカルラボラトリー 佐藤 宏美

第3回 平成23年10月1日(土) 14:00~17:00

「Excel 講座 精度管理に役立つ統計入門編」

講師: パナソニック健康保険組合 松下記念病院
中島 康仁

■会場 大阪医療技術学園専門学校 コンピュータ室
(市営地下鉄谷町線・堺筋線 南森町駅 / JR 東西線 大阪天満宮駅 徒歩 10分)

■参加費 各回ごとに1,000円(一律)

■定員 30名
参加多数の場合はメール到着順とさせていただきます。

■申込方法 メールで pc@oamt.jp 宛てに「第何回を希望」と書いて会員番号・氏名・所属をお知らせください。

受付期間: 8月15日(日) ~ 各回の1週間前まで
※受付期間外の申し込みは無効とします。

■問合せ先 大阪医科大学附属病院 中央検査部 井口 健
Email: kenmie@ruby.famille.ne.jp

学術部 一般検査部門からのお知らせ



他職種公開講座 一般検査部門 検体管理システム部門共催 統計セミナー

【事前申込み制】

統計セミナーを2日間にわたり開催いたします。

医療分野における統計学は、学会発表をはじめデータの解析手法として必要不可欠なものです。

今回のセミナーでは、ご自身のパソコンをご持参いただき^(※1)、統計ソフト「StatFrex: アークソフト社」のプリインストール版を使用し、実際に演習していただきます。この機会にぜひ統計学をお学びください。

会場の都合もあり、定員を35名^(※2)に限定させていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

※1. 会場の都合上、ノートパソコン (WindowsXP 以上、Mac は不可) をご持参いただける方のみ参加可能。

※2. 原則1施設1名。施設で複数名参加の場合は定員に余裕がある場合のみ複数名の受講を可能とします。よって、申込み時に受講生の優先順位をご記入ください。

日時

平成23年10月22日(土) 14:30~17:30

平成23年10月23日(日) 10:00~14:30

講師

大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 山西 八郎

参加費

5,000円(一律)

募集人員

35名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

※9月号に募集方法・期間などの詳細について掲載します



学術部 生理検査部門からのお知らせ

第8回 心エコー実技研修会 開催

今年もやります!

毎年ご好評いただいております心エコー実技研修会ですが、今年で8回目を迎えることになりました。

今年は内容を一新して、昨年よりさらにバージョンアップした研修会を現在企画検討中です。

日程は、今回も日曜、月曜(祝日)の開催ですので、土曜日に勤務の方や遠方からの方にも参加していただきやすい日程となっております。

これから心エコーを始められる方や始めたばかりの方、自施設に指導者がいなくて悩んでおられる方、さらにレベルアップしたい方など、心エコーを勉強したいと思っている方ならどなたでも歓迎です。“来て損した”等とは思わせない研修会です。皆様お誘いのうえご参加ください。詳細につきましては次号にてご案内いたします。乞うご期待!

日時

平成23年10月9日(日)、10日(月・祝日)

会場

未定

参加費

20,000円

内容

講義、ミニレクチャー、実技講習、動画試験等(予定)

【実技時間は例年よりさらに増やすかもれません】

第28回 みんなの健康展 ボランティア募集

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

吹田市は、市民の健康づくりを目的として、毎年健康展を開催しています。

当技師会は、吹田市健康展の参加20団体のひとつとして検査体験コーナーを担当し、市民の皆様が健康に関心を持っていただけるようお手伝いをしています。

今年度は、昨年度大盛況だった頸動脈エコー、喫煙対策と関連して肺年齢、そして新たに血管年齢を行う予定です。

今年も、今年こそ、ボランティアを共に楽しみませんか。
多くの方のご参加をお待ちしております。

《2010年度実績》

検査体験コーナー来場者
検査ボランティア

1422人
34人

今年度も下記の通り、ご参加いただける方の募集を行います。

- 日時 平成23年9月10日(土) 13:00~17:00
11日(日) 9:00~16:30
- 会場 吹田市文化会館(メイシアター)
阪急千里線 吹田駅前すぐ
- 募集スタッフ 頸動脈エコー(経験者の方)
肺活量、血管年齢、その他(経験は問いません)
- 応募方法 下記メールもしくはお電話でお願いいたします。
担当: 地区事業部 北支部 ガラシア病院
前田 富士子
Email: kensa@gratia.or.jp
TEL: 072-729-2345 (内線249)

日臨技「日臨技データ標準化・精度保証セミナー」 精度保証施設認証のための近畿地区精度管理研修会

Theme — 精度保証施設認証の取得を目指して —

- 日時 平成23年9月10日(土) 13:00~17:30
- 会場 アークレイ株式会社 京都研究所
京都市上京区岩栖院町59番地 擁翠園内
- 受講料 無料
- 募集人員 150人
- 参加証 参加証明書の発行
(*3題受講必須 精度保証施設認証の資格:
人的資源 継続的教育)
- 申込み先 〒632-8552 奈良県天理市三島町200
天理よろづ相談所病院 臨床病理部 山本 慶和
Email: labo4.1@tenriyoroze.jp
- 申込締切 平成23年8月31日
FAXまたはメールにて申込をお願いします
※申し込み専用フォーマットあり
※※申し込みフォーマットは大臨技ホームページを
参照願います
- 主催・担当 日本臨床衛生検査技師会/奈良県臨床衛生検査技師会

[内容]

- 12:15~12:45 受付
- 12:50~12:55 開会式
- 13:00~14:00 精度保証施設認証制度とその必要性
講師: 徳島大学病院 診療支援部 永峰 康孝
- 14:05~14:45 外部精度管理不良時の対応、記録の残し方
講師: 天理よろづ相談所病院 臨床病理部
山本 慶和
- 14:50~15:20 大臨技の精度保証施設認証制度の対応
講師: 松下記念病院中央臨床検査部 中島 康仁
- 15:35~16:05 POCT血糖測定およびHbA1c標準化の動向
講師: アークレイマーケティング株式会社学術センター
東野 功嗣
- 16:10~17:10 臨床へアプローチするための検査データの見かた
講師: 天理よろづ相談所病院臨床病理部
松尾 収二
- 17:10~17:25 閉会式

チーム医療実践セミナー 21世紀を担う臨床検査技師実践セミナー 滋賀・2011

- 日時 平成23年10月29日(土) NST 14:30~16:30
30日(日) ICT、糖尿病療養指導 9:10~11:10
- 会場 第51回近畿医学検査学会期間中 ピアザ淡海(大津市)
- 受講料 無料(テキスト代1,000円)但し、学会参加が必要です
申込確認書(No)をお送りしますので当日
持参をお願いします。
- 募集人員 各部門50名

- 申込締切 10月15日締切 事前申込(定員になり次第締切)
- 申込要領 申込要項は第51回近畿医学検査学会ホームページの「チーム医療実践セミナー」を参照してください。
- 申込み先 Email: labo4.1@tenriyoroze.jp
- 主催 近畿臨床検査技師会 チーム医療推進委員会
委員長 山本慶和 事務局 竹浦久司

NSTテーマ: COPD患者の検査データを読み取り、栄養評価と栄養管理を試みよう

内容: COPD患者の病態生理を知り、検査データを読み取れる臨床検査技師になる。そして栄養評価と栄養管理に活かしてみよう。

対象者: 1.血液ガスデータの読み方のポイントを知りたい人
2. COPDの病態生理を知りたい人
3. NST経験者でスキルアップを求めたい人

方法: 検討症例の情報は前もってホームページにアップされます。
検査データや患者背景を自分なりに読み取って参加してください。研修会の中でポイントを解説していきます。

糖尿病療養指導 テーマ: 他職種から見た臨床検査技師に望むこと

内容: 病棟での血糖測定(POCT)について考えてみよう?

1. 糖尿病療養指導におけるチーム医療の現状
2. POCT機器の導入が進まないのはなぜか?

ディスカッション: 病棟の血糖管理に臨床検査技師はどのように関わるべきか…

- ①病棟での血糖管理には POCT SMBG どちらがベスト?
- ②技師がどう関わって行くべき? データ管理? 機器管理?

本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第2群)糖尿病療養指導研修0.5単位申請中です。

感染対策 テーマ: 明日からできる!アウトブレイク調査の方法と進め方

内容: 講義 アウトブレイク調査の進め方

ワークショップ: アウトブレイク事例による調査の手法と注意点
アウトブレイクを早期に発見し、感染の原因を把握、感染対策を実行することは医療関連感染対策の中でも最も重要な施策の一つです。近年は、アウトブレイク調査において記述疫学のねらい: 手法を用いて要因分析を行うことも多くなってきました。今回のセミナーでは、アウトブレイク調査の全体像を把握し、ワークショップにより、記述疫学の手法を学ぶことで検査技師としての幅広い知識の習得を目的とします。

「東北地方太平洋沖地震被災現場からの声」 ～検査技師が語る被災地における臨床検査の役割～ を聴講して

岡崎市民病院（愛知県） 医療技術局長 堀 光広

6 月25日大阪府臨床検査技師会で東北大震災をテーマにした公開講座が開催されるとの情報を聞き、愛知県から参加し聴講させていただきました。

被災地支援活動の報告として天理よろず相談病院嶋田先生、松原徳洲会病院藤田先生が講演されました。

今回の震災の主たる被害は、津波による被害であり外傷による急性期の患者対応の必要度は低かったようです。どちらかといえば薬がなくなったとか避難所生活による運動量低下が原因のエコノミー症候群予防や PTSD 対象のメンタルケアといった慢性期的対応が多かったとの報告でした。こうした時期での臨床検査技師の業務としては多くはなく、避難者との会話、受付、ガソリンなどの物資調達・輸送、掃除や雑用等の活動が多かったとの報告でした。

生活の歯車、医療環境の歯車が狂ってしまった災害時、一つの行為がかけても医療が成り立たない状況の中では、あらゆる行為に率先して取組む重要性を感じました。「災害という特殊な環境の中で個人個人、何ができるかでなく、何かやってみる。」その言葉から臨床検査技師として、また医療人としての心構えの大切さを感じた講演でした。

続いて特別講演で大阪市立大学大学院教授の溝端先生による東南海地震への備えについての講演を拝聴しました。阪神・淡路大震災時の教訓として機能停止した病院への患者受診が多いこと、また広域搬送を含めた対応の重要性についてお話をされました。

関西西大香里病院 MCM検査室 宮崎 あゆみ

梅 雨明けしたかの様に晴れ渡った真夏日に、第2回緊急検査部会に参加してきました。

外に出るのが嫌になる様な暑さでしたが、たくさんの方が参加していました。遠くは愛知県からの参加もあり、また、一般の方も数多く参加されていました。

今回は全国的にもいち早く東日本大震災をテーマにした講演という事で、嶋田先生の講演では、阪神・淡路大震災との比較やライフライン・情報共有の重要性、被災者及び派遣者の精神的なケアの必要性などを被災地の現状と共に話して下さり、とても分かりやすく勉強になりました。

また、藤田先生の講演では、グループ病院としての現地並びに後方支援体制について話して下さり、情報の取得やチーム医療の必要性などを改めて考えさせられました。

特別講演の溝端先生のお話では、災害時における緊急医療の必要性と今回の災害における DMAT の活動などを聞くことが出来ました。また、今回の災害の特徴ともいべき津波による被害と原発問題が引き起こした課題についても知ることができました。

被災地の現状や災害現場で検査技師に何が出来るかについて実体験を基に話して下さい、とても有意義なものでした。講演を聞き、現在の災害時における医療体制の課題や一医療人として、また一人個人として何が出来るかについて考えさせられました。

災害時における検査は疾病と同じように急性期、回復期を考慮する必要があるように感じられました。すなわち災害に遭い傷害をこうむった患者への医療が必要な急性期、この時期ではライフラインの遮断が想定される中でいかに必要な検査を行なえるか、また、大挙して受診する患者への人的対応をどのように行なうのが課題となり、回復期では、医薬品や医療資材の調達、災害で破壊が想定される検査体制の復旧が課題となるように感じられました。

震度6強が想定される東海・東南海・南海連動地震も危惧されています。愛知県岡崎市地区の災害拠点病院である当院でも、病院一丸となって準備を怠ることなく進めていかねばならないと感じた講演会でした。

最後に30℃を越す真夏日にかかわらず、参加された100名近くの大阪をはじめとする兵庫・奈良・滋賀の先生方、また参加者の一割強におよんだと聴く一般参加者の熱意に驚かされたと共に、有意義な会を企画、開催された大阪府臨床検査技師会緊急検査部会の先生方にお礼申し上げます。



上山病院 奥村友香

東 北地方太平洋沖地震から3ヶ月以上経ち、今ではあの悲惨な映像や画像を見る機会もめっきり減ってきているように感じます。

被災地の現状、支援活動の内容についての実際の詳しい情報は報じられていなかったりすることもあると思うので、今回の勉強会でナマのことを聞いて改めて地震や津波の残酷さを痛感しました。

臨床検査技師として被災地の支援に行き、事務や掃除など“できることからする”活動内容をしていただけには少し驚きました。また、グループ病院への支援では、グループ病院だからできる支援の早さや計画的なスタッフの派遣がとてもしっかりしていることに感じました。

3つの演題を聞き支援活動が想像以上に早く進められていたことを知りました。万が一、災害・事故が起こったときには何でもいから自分にできることからやっていく必要があると学びました。

今最も関心のある内容であっただけに、一般の方々にもとても興味深い内容であったと思います。

おめでとうございます！

元南大阪病院臨床検査科技師長で当会元会長（平成2年～5年度）

柳瀬 彦三氏が瑞宝章を受章されました。

6月18日付の読売新聞に掲載された受章のコメントを紹介します。

叙勲・瑞宝双光章 受章

「昔はどんな仕事なのかも知られていなかったけれど、職場環境に恵まれて好きなことをいっぱいやらせてもらった。」

患者の血液などを分析して医師に病状の判断材料を提供する臨床検査技師としての半世紀近い人生を振り返り、受章を喜ぶ。

高校を卒業後、大阪医科大学の病理学教室で研究者の助手を務め、第1回の臨床検査技師の国家試験に合格。病院に仕事の場を移してからは、臨床検査技師として日進月歩の検査方法について研究を重ねる一方、不足しがちな人材育成のため病院

に専門学校の設立を働きかけて実現。検査室にこもらず、医師や看護師とのチーム医療で患者の治療にあたる検査技師のあり方を定着させた。

専門学校の講師を兼ねて「検体の向こうに人の命があるのを忘れたらあかん」と伝えた教え子は400人以上。その多くが第一線に立つ。「縁の下の仕事だからこそ誇りを持ち、勉強も欠かさないでほしい」と、後輩の活躍を見守る。



6月25日(土) 26日(日)の両日、大阪南港ATCホールにて開催された「マタニティーカーニバル2011」にて、大臨技は体験コーナーを担当しました。

今年で大臨技としての参加は3年目となりましたが、年々来場者数も増えており、中当会ボランティアスタッフとしても両日でのべ108名の過去最高数の人員を投入しました。

今回初の試みとして、教育機関の学生さんにも参加してもらいました。来場した方々に「楽しく」体験してもらうために奮闘したスタッフのみなさんの姿に感動してもらえたようです。



【当日データ】

◆来場数

6月25日(土) 晴	9,649人
6月26日(日) 晴時々くもり	11,637人

◆ボランティア数

6月25日(土)	49人
6月26日(日)	59人

◆体験者数

骨密度		血液サラサラ	
6月25日(土)	390人	6月25日(土)	107人
6月26日(日)	399人	6月26日(日)	105人
脳年齢		パパのマタニティ体験	
6月25日(土)	225人	6月25日(土)	219人
6月26日(日)	271人	6月26日(日)	239人
4D胎児超音波		延べ合計体験者数 2,752人	
6月25日(土)	378人		
6月26日(日)	419人		

VOICE

臨床検査技師教育機関からの声

マタニティーカーニバル2011に参加して

今回 マタニティーカーニバル 2011 に学生が参加させていただきました。イベントテーマが『つなげよう生命(いのち)のきらめき』で今回震災の後小さな絆が社会全体の輪をつなげる1つの機会として、ボランティアの一貫として大阪医療技術学園臨床検査技師科2年生3名が行いました。運営スタッフとして協力した学生のコメントとしては、妊婦さんが2日間で800名弱参加され、これだけ南港に来て4D胎児超音波体験や骨密度体験、血液サラサラ体験、脳年齢チェックなど行っていることに大変感動したとのこと。またこれだけ大々的な妊婦のイベントに体験できたことを通じて臨床検査のすばらしさ、技師の力量にうれしくなった。また来年も病院実習の合間に参加したいとのことでした。

大阪医療では 献血の呼びかけ推進ボランティアで大阪府知事からの感謝状と銀色有功賞をいただきました。これからも、よりいっそう大阪府臨床検査技師会と大阪府赤十字血液センターなど業界のボランティア活動に参加していき、検査の知識と技術と人の気持ちがわかる技師を養成していきたいと考えます。

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査科 副学科長 近藤 雅史



大臨技情報組織部 新入会員研修会 報告

平成23年7月2日(土) 14:30より大臨技事務所において新入会員研修会が開催されました。例年のごとく蒸し暑い日の開催で、予定より参加者は少なかったのですが、参加された方々は意欲のある積極的な新人さんばかりで、研修会は結構盛り上がりしていました。参加者全員の感想を聞き取ったのですが、紙面の都合上2名の方に感想を書いていただきました。これからの皆さんのご活躍を期待いたします。

大阪府臨床検査技師会新入会員研修会に参加させていただいて

7月2日に大阪府臨床検査技師会事務所で開催された新入会員研修会に参加させていただきました。技師会紹介、学術部紹介では、今まで分からなかった技師会の構成や技師会の行っている活動について知ることができました。その講演の中で『人脈=財産』という言葉があり、自分自身もこれから人と人のつながりを大切にしていきたいと思いました。

認定資格についての説明では、認定資格の種類、各認定資格の取り方、試験内容など、自分の経験談を踏まえてご講演いただき、これから認定資格の取得を目指す自分としては、とても貴重なお話を聞くことができました。

サイン集めゲーム、クイズ大会では、初対面の人とお話しとても緊張しましたがすぐに打ち解けることができ、初めて会ったとは思えないほどいろんなことをお話ししました。

研修会終了後、懇親会にも参加させていただき、研修会ではお話しすることができなかった人とお話しすることができ、アルコールが少し入ることで研修会とは違った雰囲気でお話しすることができました。

最初は、不安と緊張感でいっぱいでしたが研修会、懇親会を通して新入会員の人だけではなく技師会の先輩方ともたくさんお話しすることができ、交流の輪を広げることができたように思います。

私もこれから技師会の一員として、技師会の活動に積極的に参加していきたいと思いました。

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 梶尾 健太

新入会員研修会に参加して

今回の新入会員研修会では、新しい出逢いや気づきがたくさんありました。ディスカッションでは、実際に起こった検体や生理検査の事故に対する対応や要因、改善策をグループで話し合いました。いつ起こってもおかしくない内容だったので、とても勉強になり、それぞれの自分の職場の在り方を見直すきっかけにもなりました。懇親会では、先輩の技師さん達が新人と気さくに話をしてくれ、暖かく迎えていただきました。本来ならば、違う職場であるため一緒にご飯を食べることもない先輩方と、同じテーブルを囲むことは有り難い機会であり、年代も違うけれど同じ目線で話していただいて、本当に楽しい時間が過ごせました。みなさん個性豊かで優しく、同じ職種であることがとても嬉しく感じました。学校や職場ではない、第3のコミュニティとして私も大臨技で多くの仲間を作りたいと思いました。これからもよろしくお願ひします。

大阪医科大学附属病院 小寺 佑佳

大臨技事務局よりお知らせ 平成23年度 会費納入のお願い



平成23年度より日臨技とは **別納方式** の扱いとなっております。
所定の「郵便振込用紙」をご使用ください。

1.	大臨技「継続会員」納入金額	
	大臨技年会費	5,000円
2.	大臨技「新入会」および「再入会」納入金額	
	大臨技新入会費・再入会費	2,000円
	大臨技年会費	5,000円
		計 7,000円



所定の郵便振込用紙は大臨技事務局に
ご請求ください。



日臨技入会希望者は大臨技への入会も必要
になります。



施設、転入・転出・異動および転居の際は
大臨技事務局にもご連絡ください。
特に転居については、送付先を自宅にされてい
る場合、メール便を使用したニュース、会報等
がお届けできなくなりますのでご注意ください。

編集後記

お知らせ

東日本大震災の義援金は5月末日で
締め切らせていただきました。
会員様から届いた義援金は合計
39,360円となりました。
これに大臨技からの義援金 30,000円
を加えて合計 69,360円を日臨技へ送
金いたしました。
ご協力いただきましてありがとうございます
でした。

「日本プライマリ・ケア連合学会 第25回近畿地方会」のお知らせ

会期
平成23年11月20日(日)

会場
ホテル阪急エキスポパーク

演題申し込み期間
平成23年6月21日(火)～8月4日(木)

事前参加申し込み
平成23年9月14日(水)まで
(演題申し込みと事前参加申し込みについては、
学会ホームページで確認してください。)

学会ホームページ
<http://primary25kinki.jtbcom.co.jp/>

後援
社団法人 大阪府臨床検査技師会



敗血症(細菌性)の鑑別診断、重症度判定の補助に

プロカルシトニン PCT

プロカルシトニン(PCT)はカルシトニンの前駆体として甲状腺のC細胞で生成され、血中にはほとんど
分泌されません。敗血症(細菌性)の患者では血中プロカルシトニン濃度が上昇するのに対し、ウイルス感染症
ではほとんど上昇しないため、敗血症(細菌性)の新しいマーカーとして注目されています。

イムノクロマト法

体外診断用医薬品 承認番号 21900AMX00925000

プロカルシトニンキット

ブラームス PCT-Q

特徴 イムノクロマト法で簡便・迅速に結果が得られます。

酵素免疫化学発光法

体外診断用医薬品 承認番号 21800AMX10625000

プロカルシトニンキット

スフィアライト・ブラームス PCT

- ▶ 自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight 180
- ▶ 自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight Wako

特徴 CLEIA法で高感度20分アッセイ。モノテスト方式で試薬ロスがありません。

LBA-EATA法

体外診断用医薬品 承認番号 22200AMX00283000

プロカルシトニンキット

ミュータスワコー ブラームス PCT

- ▶ 全自動蛍光免疫測定装置 ミュータスワコー i30

特徴 ミュータスワコー i30専用PCT定量試薬。9分でPCTを高感度測定できます。

* LBA-EATA法: Liquid-phase Binding Assay - Electrokinetic Analyte Transport Assay 法



本製品は、マイクロチップ電流泳動に
関するCaliper Life Sciences社の基本
技術を元に、和光純薬のLBA-EATA法を
利用して開発された製品です。

(製造販売元)

和光純薬工業株式会社
大阪市中央区道修町3-1-2

(問い合わせ先)

和光純薬工業株式会社
臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13
電話: (03) 3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
FAX:06-6763-5653 E-mail:imai@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成23年9月号の原稿メ切は**8月2日(火)**、10月号は**9月3日(土)**です。